

メキシコ 拷問を受けた良心の囚人が釈放！



ホンジュラス人の良心の囚人、アンヘル・コロソさんが釈放されました。

ガリフナ・アフロ（カリブ系黒人）の出自を持つコロソさんがメキシコ国境で逮捕されたのは2009年3月、重病の息子の医療費を稼ぐために米国で職を得ようとメキシコ経由で移動していた時でした。突然逮捕された上、警察官や兵士による殴打や首絞め、人種差別的な罵倒など、拷問や虐待を受けました。また、組織犯罪に関与したというでたらの供述書に無理やり署名をさせられました。しかし今回、連邦検事総長が自白を虚偽であると認め、起訴を取り下げたため、晴れて釈放されました。

これは、コロソさんや家族はもちろん、何年もともに闘ってきた人権活動家や皆さんにとって、大きな朗報となりました。皆さんが当局へ送った訴えや本人への連帯メッセージ、アクションなどが奏功したと言えます。コロソさんの釈放を機に、コロソさんのメッセージを収録したビデオを制作しましたので、ぜひご覧ください。

https://www.youtube.com/watch?v=2iq_imOMM6s&feature=youtu.be

5年以上も拘禁されていたコロソさんが普通の生活に戻るには、しばらく時間がかかりそうです。

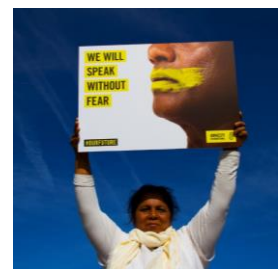
アムネスティは当局に対して、コロソさんの拷問などの申し立てを十分調査すること、拷問に関わった者やその責任者を裁判にかけること、実効性のある救済と適切な補償を、これからも求めていきます。

スリランカの活動家のためにアクションを！

サンドヤ・エクナリゴダさんは、スリランカの人権活動家です。強制失踪の犠牲者の真実と法の正義を求め、2010年1月から精力的に活動してきました。サンドヤさんは、ジャーナリストの夫が行方不明になったことがきっかけでこの活動を始めました。スリランカでは多くの人権活動家が脅迫を受けているため、行方不明者の家族が脅迫を恐れることなく捜索やその呼びかけができるようにと、最近キャンペーン“#OurFuture”を開始しました。

[アクション] “#OurFuture”と書いたボードを持って写真を撮り、<http://srilankaourfuture.tumblr.com/>にアップ (“Submit”をクリック)してく

ださい。この写真を活用して、当局に圧力をかけることも検討中です。このアクションは、正義を求めて闘ってきた家族に大きな励みとなりますので、一人でも多くの方の参加をお願いします！



劉萍さんの誕生日を祝うアクションへ参加を！

中国の人権活動家、劉萍（Liu Ping）さんは、政治と社会の透明性を訴える「新公民権運動」に関わったために迫害され拘禁されている多くの中国人活動家の一人です。彼女は2013年4月、汚職の実態を明らかにするため官僚の資産公開を求めるデモを組織したことが社会の扇動や混乱を招いたとして6年6カ月の懲役刑を受け、今も拘禁中です。

[アクション] 12月2日は劉萍さんの誕生日です。写真やメッセージを特設サイト<http://messagesforliuping.tumblr.com/>に送ってください。



左の写真のような簡単なフレーズや写真でかまいません。一人でも多くの加をお待ちしています！

グッドニュース！

[ビルマ (ミャンマー)]

人権活動家のチョーラーアウンさんが10月7日、釈放されました。この日にビルマ政府が発表した囚人への大統領恩赦の一環でした。釈放の背景には、チョーラーアウンさんは高血圧と関節炎を患い、体調が大変悪く、残る刑期が6カ月を切っていたことも考えられます。

大統領の恩赦を定めた刑事訴訟法には、「判決の延期や減刑の条件が満たされていないと大統領が判断した場合、残りの刑期を務めさせるために再び収監することもある」と定められています。そのため、チョーラーアウンさんは、その旨を書いた文書に署名させられました。

私たちは、この釈放自体は歓迎しますが、そもそも投獄されることは一切していないという事実は不変です。チョーラーアウンさんが再び、不当な理由で拘束されたり、他の人が同様の目にあったりする可能性は、これからもあります。したがって、アムネスティは今後もチョーラーアウンさんや同様の被害にあっている人たちを注視していきます。

この緊急行動はひとまず終了いたします。参加して下さった多くの方々に心から感謝します。ありがとうございました。

[ナイジェリア]

ナイジェリアの死刑囚、サンクゴッド・エブホスさんが釈放されました。

エブホスさんは1988年に武器の窃盗容疑で起訴され、1995年に死刑判決を受けてしまったのです。それ結果、死刑囚監房に拘禁され、19年の歳月が流れました。

昨年6月、別の4名の死刑囚が処刑された時、エブホスさんも執行の可能性があります。しかし、その日の処刑方法は絞首刑で、裁判所が下していたエブホスさんの執行方法は銃殺刑であったため、絞首刑を免れたとのことでした。

そして、この10月1日のナイジェリアの独立記念日に、地元の州知事が憲法12条の特赦権を行使し、エブホスさんを釈放する命令に署名したと発表しました。容疑からする

と釈放は当然と言えば当然ですが、生き延びて来られたのは偶然が重なったとも言えます。

エブホスさんは、釈放後すぐに家族と再会し、その後は幸せに暮らしているということです。

本件に関するアクションはこれで終了いたします。アピール文を送っていただいたすべての方々に感謝します！

[サウジアラビア]

フィリピン人の家事労働者ルース・コスロジャスさん(31歳)は9月29日、サウジアラビアの刑務所から釈放され、翌日フィリピンへ送還されました。

2013年10月、コスロジャスさんはセックスワークに従事したという根も葉もない容疑と不正な裁判で有罪になり、禁錮18カ月とむち打ち300回の刑を言い渡されました。裁判は秘密裏に開かれ、弁護士との接見も認められませんでした。消息筋によると、裁判官は、コスロジャスさんを現行犯で逮捕したという警察官の証言を真に受けたといえます。

しかし、コスロジャスさんは法廷でこの証言を真っ向から否定して次のように語ったそうです。「2013年8月、一人のフィリピン人から『清掃の仕事がある』と声がかかり、女友達3人とその男に会った。ところが、その男に連れて行かれたのは宗教警察で、『セックスワークに従事している』とまったく根も葉もない告発をされた」。

コスロジャスさんは釈放されるまでの13カ月間、刑に服していました。友人によると、むち打ち300回のうち、150回はすでに受けたといえます。

本件に関するアクションはこれで終わります。アピール文を送っていただいたすべての方々に申し上げます。

UA ニュース

発行: アムネスティ・インターナショナル日本
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F
TEL: 03-3518-6777 FAX: 03-3518-6778
E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費 3000 円
郵便振替 00120-9-133251
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本